

オペラティックリサイタル Georges Bizet: Opera "Carmen" カルメン

# 中村敦子 Carmen

Operatic Recital ビゼー作曲 | 歌劇「カルメン」よりハイライト



◆カルメン◆  
中村敦子  
Mezzo-soprano

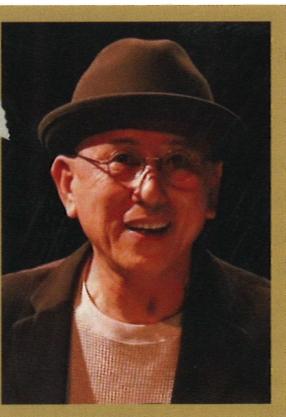


◆ホセ◆  
Special Guest

◆ホセ◆  
岸浪愛学  
Tenor 東京二期会



◆ピアノ◆  
原田園美  
Piano



◆アクター&ナレーター◆  
茅根利安  
Actor & Narrator

◆フラスキータ◆  
陳内紀美子  
Soprano  
賛助出演

2024年10月1日[火] 18:30開演 18:00開場

宮城野区文化センター パトナホール

全自由席 一般3,000円 \*高校生以下無料 プレイガイド | 宮城野区文化センター／カワイ仙台

主催 | オペラティックリサイタルカルメン実行委員会

後援 | 武蔵野音楽大学同窓会宮城県支部／(株)宮城県芸術協会／(株)ヤマハミュージックジャパン仙台店／カワイ仙台

河北新報社／毎日新聞仙台支局／朝日新聞社仙台総局／tbc東北放送／(株)仙台市市民文化事業団

お問い合わせ／マネージメント | マーベラス・スタジオ 090-2973-7958 labmama11@ybb.ne.jp

## Artist Profile

◆カルメン◆  
中村敦子

Nakamura Atuko, Mezzo-soprano

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。姉歯けい子、砂原美智子、田手道子、平田典之の各氏に師事。また、ジュリアーノ・チャンネッラ、ダビデ・チャバレッラ各師による特別レッスン、フィオレンツァ・コッソットの公開レッスンを受講し研鑽を積む。「カルメン」(カルメン)、「カプレッティとモンテッキ」(ロメオ)、「コジ・ファン・トゥッテ」(ドラベッラ)、「蝶々夫人」(スズキ)、「フィガロの結婚」(ケルビーノ)等の要役にて仙台オペラ協会公演に出演(～2007年)。オペラネットワーク仙台主催「蝶々夫人」(スズキ)、「椿姫」(フローラ)等に出演。2011年、黒川郡大和町「たいわっこ芸術鑑賞会」の「フィガロの結婚」の企画・制作に携わり、ケルビーノ役でも出演。現在は「グレッポ・ゼッフィロ」(田手道子・平田典之監修)にてオペラコンサートに出演、仙台を中心に音楽活動を繰り広げている。第6回JIRA音楽コンクール声楽部門第2位。2009年、2019年、2023年にリサイタルを開催。宮城県芸術協会会員。

◆ピアノ◆  
原田園美

Harada Sonomi, Piano

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第16回ぐんま新人演奏会合格、出演。第19回草津夏期国際音楽アカデミーに群馬県派遣員として参加。第18回練馬文化センター新人演奏会合格、優秀賞受賞。東京ニューシティフィルハーモニックヒューマン「ピアノ協奏曲」を協演等、数々の演奏会に出演。ソロ、アンサンブルピアニストとして活動の後、2004年渡伊。コレペティトゥールとして研鑽を積む。IBLA World Competitionにて伴奏優秀賞受賞。2005年若手歌手の登竜門として歴史あるスロレート実験歌劇場アカデミーに首席合格し、同劇のオペラ歌手養成コースのコレペティトゥール、音楽スタッフ等を務めた。2006年帰国後には、ノルドフィヨルドオペラ(ノルウェー)からの招聘を受け、2007年より数回に渡りコレペティトゥール、音楽スタッフとして参加。現在新国立劇場オペラ研修所ピアニストを務めるなど若手の育成にも携わる他、様々なプロダクションに音楽スタッフとして参加。また全国各地でアーティストの共演ピアニストとしても活動の場を広げている。

◆フラスキータ◆  
陳内紀美子

Jinnai Kimiko, Soprano 賛助出演



◆メルセデス◆  
海野安岐子  
Soprano  
賛助出演

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。東京声専音楽学校オペラ研究科修了。藤原歌劇団第1期研究生。1981年より2004年まで仙台オペラ協会演奏部会員。「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ。「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ。「魔笛」第1の童子等でオペラ公演に出演。その他各種コンサートに多数出演。1990年ジョイントリサイタル、1993年、2019年リサイタル各主宰。次回2024年11月に予定している。

◆ホセ◆  
岸浪愛学

Kishinami Aigaku, Tenor

東京都出身。中国政府奨学金を受け中国中央音楽学院修了。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。イタリアとドイツに留学。国外では、小澤征爾音楽塾中国公演《合唱幻想曲》テノールソロ、四川フィルハーモニー交響楽団主催中国オペラ『原野(Savage Land)』に出演、好評を博した。国内では、セイジ・オザワ松本フェスティバル《ジャンニ・スキッキ》リヌッチョ、新国立劇場《夏の夜の夢》フルート、日生劇場《ラ・ボエーム》ロドルフ、東京交響楽団《サロメ》ナラボート、東京二期会《平和の日》(日本初演)狂撃兵、松本市民オペラ《山と海猫》男2などに出演。東京・春・音楽祭20周年記念ガラコンサート、PMFガラコンサートに出演。《第九》や《メサイア》などのソリストとしても高い評価を受ける。音楽情報メディア『スパイク』からは「鈴を振るような声」と評された。二期会会員。

◆アクター&ナレーター◆  
茅根利安

Chinone Toshiyasu, Actor & Narrator

仙台市出身。1979年「劇団I.Q150」を旗揚げ、26年間同劇団の舞台に立ち、パルテノン多摩小劇場フェスティバル、下北沢演劇祭、愛知県芸術劇場フェスティバルなどを経験する。1999年宮城県芸術選奨新人賞受賞。Sendai座☆プロジェクトを経て、2011年東日本大震災を契機に心の復興を芸術面で支援する「ココロノキンセンアワー」を結成。佃典彦氏の「カレー屋の女」をソウル、東京、東北各地で上演し、ALICE特別賞を受賞する。2014年からは笠井賢一氏を演出として招き「言葉の海へ」「明治に先駆けた雪国の女二人」「桜の森の満開の下」をプロデュース、出演し東京と東北各地で上演。チェロ奏者の山本純氏との語り芝居「セロ弾きのゴーシュ」はロングランを続けている。また、「奥州仙台おもてなし集団 伊達武将隊」(仙台市)、「HAPPYふくしま隊」(福島県)、「おもてなし二本松少年隊」(二本松市)のアドバイザーやヒューマンアカデミー仙台校非常勤講師として俳優の育成にも力を入れている。

◆メルセデス◆  
海野安岐子

Unno Akiko, Soprano 賛助出演

東京音楽大学卒業。ピアノを(故)中田正則、野本弘子、声楽を大川隆子、佐藤ミエ、現在は平田典之、田手道子の各氏に師事。日本歌曲、オペラ等の演奏会に多数出演。2010年モナコ公国でのモーツアルトのレクイエム、2015年ウィーン、ミラノの各コンサートにソリストとして出演。現在、コール・タンボラ、コール杜のささやき、大和コーラス、童謡野ばらの会、紫山女声コーラス各指揮者。青葉・泉カルチャーミュージック教室講師。



Special Guest  
東京二期会

graphics by fukushi okubo design office